管理組合理事会向けメモ

　　　　　　　　　　**自治会活動の提案**

今後の、高齢化が進む自治会として、今まで以上に、会員相互の信頼関係の絆を強める数々の共同作業や、親睦を深める行事等、を行なってゆく事がより重要なことだと思います。

又、強力な信頼関係を築きあげる事が、いつ発生するのかわからない災害時の「共助」の大きな原動力の源となる事に違いありません。

そこで提案ですが現実的な防災訓練です。

規則に縛られず現実を見ながら、着実に現実的訓練を重ねてゆきます。

規則を優先しすぎると命に係わる訓練も行えずに命を落とす結果になりかねません。

まず始めは炊き出し訓練の基本である「火」を確保することから始め、焼く、炊く、煮る、蒸す、等々の基礎から始め、最終目的は居住者全員への炊き出しを可能にすることを目標とする訓練です。

概要は、炊き出し場所として防災倉庫の隣接地を想定、空スペースを平坦に整地し、レンガで炊事用のカマドを自作し設置します。

炊き出し品目は、オニギリ、カレー、焼き肉、豚汁、等々、詳細に関しては今後検討する事とします。

準備開始時期は平成31年3月頃を予定します。

管理組合理事会の前向きな見解を期待します。

自治会役員会としてとりあえず以上を要望します。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2018年11月12日

ｼﾃﾇｰﾌﾞ北千住30

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　自治会役員会